



みんなの力でみんなの幸せを

s a w a r a b i

さわらび

- 2** **医学** 血中コレステロール低下剤「スタチン」誕生の舞台裏
◆老人保健施設ジューケム 施設長・東京大学客員研究員 金井 芳之
- 8** **特集** 働くお母さん ～安心して働いていただくために～

2009 **6**
vol.434





医学講話

血中コレステロール低下剤 「スタチン」誕生の舞台裏

老人保健施設ジユゲム 施設長

(元)東京大学 助教授
現東京大学客員研究員

金井 芳之

はじめに

昨秋、今世界中の二千万人もの人が服用していると言われる、血中コレステロール（以後本文中ではコレステロールを幾つかの例外を除いて〇〇と略す）低下剤「スタチン」（シンバスタチンやプラバスタチンなど幾つかの名前でよばれているが（図1）の発見でパイオフォーム研究所の遠藤卓博士がノーベル賞に最も近いと言われるスカラー賞を受賞された。この賞は正確にはアルバート・スカラー臨床医学賞と呼ばれている。今回は彼が少年時代から秋田の田舎で野山のキノコやカビの魅力にひか

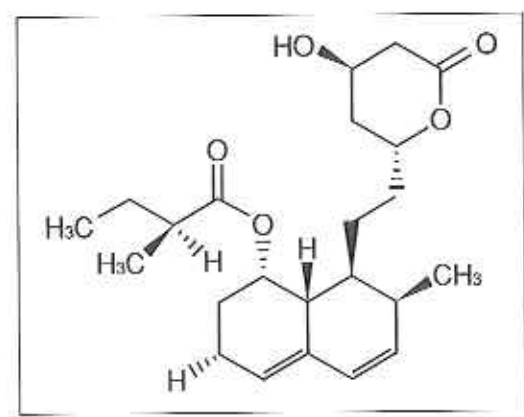


図1・コンパクトンの構造

れたのが、其の後の研究に、貫して結びついて偉大な発見へと繋がった足取りを辿ってみることにする。偉大な研究が大成されるには膨大な研究費が要されることも否定はしないが、その端緒はお金の掛からない緻密な観察と閃きであることを教えられるのである。例えば本誌さわらび403号にも書いたが、たまたま実験の不始末で培地に紛れ込んだ青カ

ビが細菌の増殖を抑えることが起点でフレミングによるペニシリンの発見、更にはヘリコバクター・ピロリが胃潰瘍を発症するという発見、これもさわらび391号に記載したが、同様に培養の不始末の結果である。ニュートンの方有引力の法則の発見もその動機は単純で、探せば類似のものは少なくない。但し、新しい現象が見つけれられても、それが認められ世に出るまでには「運」と「財源」

に恵まれなければならないことも事実である。また運悪く第一発明者が葬られ第二、第三の手になることも稀ではない。遠藤博士の場合もそのリスクはあったものの、氏がスタチンの発見・創始者であることが斯界に認められ、今回の受賞となったのである。

研究の動機

氏は東北の山村に生まれ、幼少からキノコやカビに興味を抱いていた

ことは先に述べた。とりわけハエトリシメジなどのキノコ、麹菌、ミカシ菌などが大きな興味の対象であった。その研究に拍車をかけたのが前述の青カビからのペニシリンの発見である。東北大学では微生物由来の医薬品の製造に関わる「応用微生物学」を専攻した。卒後は「三共」に

入社、カビやキノコからワインや果汁の製造に用いる酵素「ペクチナーゼ」を発見し、その商業化に成功した。それが評価され、学位取得と海外留学の機会を得た。

米留学時代（1966—68年）

アルバート・アインシュタイン医科大学（ニューヨーク）では燐脂質と細菌酵素について研究したが、以前から興味のあったものを勉強する機会にも恵まれた。当時米国では冠状動脈疾患による死亡者が年間80万人にも達し、その予備軍の高コレス

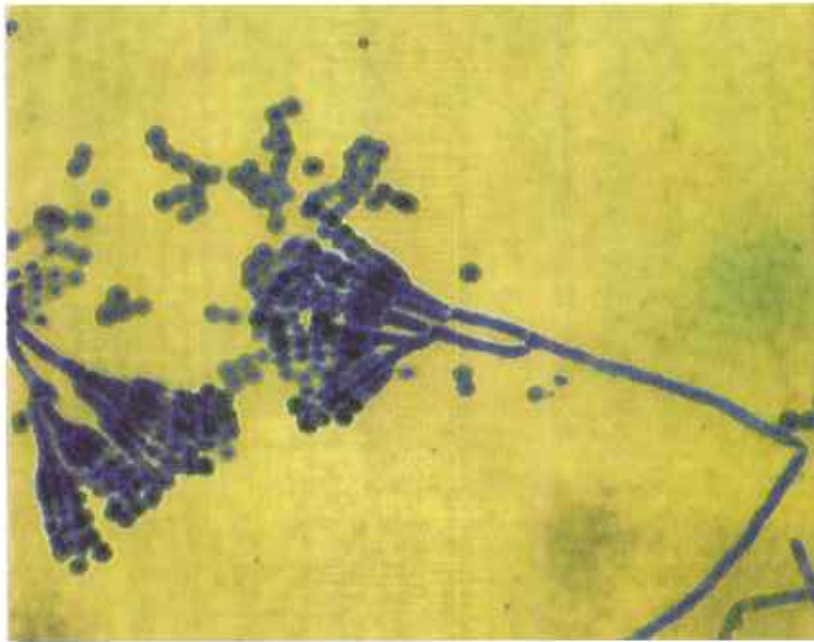


図2 ● ペニシリウム・シトリナム

「これをコンバクチンと命名」を発見した。X線解析の結果、CS合成の律速酵素(HMG-CoA還元酵素)の基質と阻害物質の構造が良く似ていることが分かった(酵素学ではこの現象を基質の競合的阻害と呼ぶ)。ところがそこで難問が生

テロール血症の人は一千万を越えていた。当時ものS低下剤はあったが、氏は主に肝臓で合成されるものの合成阻害剤を見つければ妙薬になると考えた。欧米の研究者は化学合成物質から新薬を追究していたが、氏は十八番(おほこ)であるキノコやカビから新薬を見つけようと考えた。

帰国後の研究

「共に復帰してラット肝臓にある約30種類の酵素からの合成系を構築し、六千種類にも及ぶカビやキノコの培養液(実に30000リットルにもなる)からの合成酵素阻害物質の同定を試みた。暫くしてカビの一種「ペニシリウム・シト

リナム」(図2)からスタチン・号となる「ML-2369a」

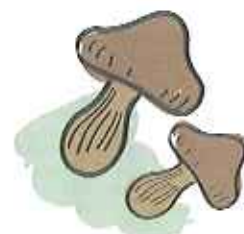
発想の転換

そんな中、行きつけの小料理屋(焼き鳥屋?)でニワトリの研究者と偶然あったのが縁で実験系をニワトリに変えたのである。人量のSを含む卵を生むニワトリは血中のSが高いのでコンバクチンの研究には最適であった。その結果コンバクチンは見事にCS値を低下させたのであるが、ニワトリに強い肝毒性が出たので、ここでもまた研究は中止となってしまった。しかし、辛いヒトの実験で安全性と有効性が認められ、スタチンは漸く医家のも

とに届くようになったのである。

おわりに

夢の薬コレステロール低下剤(実際には悪玉コレステロールと呼ばれる「LDL」を選択的に下げる)が市販されるまでのあらしを辿ったが、これはその極く一部で、紙面の都合で多くの事を割愛したが、実際には発ガン性、肝毒性などの噂、二番煎じの出現、特許の争奪戦等々、幾多の問題が絶えなかったのである。その理由は古カビの種類が異なればスタチン・号(コンバクチン)類似の薬(二番煎じ)が見つかるからである。



参考文献

学術文庫861号
American Scientist, Vol.98

赤津 裕康

昨年の夏前より浜松医大（瀬藤教授）のご協力で中心静脈栄養（太い静脈にカテーテルを留置して高濃度の点滴だけで水分、栄養を投与する方法）で長期管理されている患者さんの微量元素（ミネラル）とビタミンの推移に関して調査をさせていただきました。

この目的は、現在流通している中心静脈栄養用の高カロリー点滴製剤において水分やカロリーを成人ほど必要としない高齢者でも問題がないかを確認するためでした。現在の高カロリー点滴製剤は微量元素を除く全ての成分が1パックに入った非常に便利なものではありませんが、この中に含まれるビタミン等は成人投与

量（1500～2500cal）を目安に設計されています。福祉村病院では、高齢の患者様が多いため、この1パック製剤だと長期中心静脈栄養管理で微量元素やビタミンの過不足が生じていることが懸念されています。

今回の調査では三ヶ月間という長期追跡を行うことで、実際のところはどうか、そのあたりを明らかにする事ができるように試験のデザインを行いました。毎月の採血を三ヶ月間行い、一般的な血液生化学検査に加えて鉄、亜鉛、銅、マンガンといったミネラルと甲状腺ホルモン、ビタミンに関してはB1、B6、Cと葉酸血中濃度の経過を追いました。

我々の食生活においてでさえビタミン、ミネラルはちよつと偏食を続けただけでも不足がちになります。そのため、中心静脈栄養製剤の開発には先人達の苦労が凝縮されています。不足した場合はいろいろな疾病を引き起こします。逆に過剰量であっても、直接血液内に投与されるわけですからあつという間に中毒状態

に陥る場合もあります。そういう意味で、口1500cal以下のカロリーで充足できる寝たきり高齢者での中心静脈栄養管理におけるビタミン、ミネラルの長期追跡はデータが有りませんでした。

昨年、秋に追跡調査が終了し、現在調査データに基づいて微量元素の解析から始めています。結果から申し上げますと、本院で採用されている高カロリー輸液に用いている微量元素製剤に関しては、一日一管の投与で過不足や大きな変動はありませんでした。唯一、問題となりそうな結果は鉄の代謝でした。三ヶ月間の観察期間中、全体的に貧血傾向の症

例が多く、血清鉄の値は低く推移しました。鉄はご存知のように赤血球のヘモグロビンに多く含まれ、不足すれば貧血になります。しかし（あまり馴染みがないかもしれませんが）貯蔵鉄として測定されるフェリチンは高値で推移した症例が多かったもので、一概に鉄不足という結論にはなりませんでした。食事が口からとれ

ず、慢性肺炎等で喀痰分泌等が多いために中心静脈栄養とせざるを得ない方が多かったというのが一つの要因なのですが、これが鉄代謝に障害を来たし、貧血を招いている可能性が考えられました。難しく言うと慢性炎症による鉄代謝障害の状態での問題は今後解決していかねばいけない点でもあります。

ビタミンにおいては現在解析中ですが、今回の解析により高齢者での中心栄養管理の課題を明らかにしていけるのではないかと思っています。



さわらび レポ ート 大学

2009年6月14日講義

接遇

◎講師：機ハーマネット 代表取締役

近藤 敏子先生

今年度のさわらび大学をすすめるにあたって、何を学びたいか、どういった講座を開けば仕事の場でのスキルアップにつながっていくのかということを各施設、各職員の声を集めました。

その中で多くでた要望が、利用者さまやそのご家族、米客者などとのより良い「接遇」について学びたいというものでした。そこで、昨年度開催し大盛況であった「接遇」について、今回も機ハーマネット代表取締役である近藤敏子先生をお呼びし



●昨年に続き近藤先生に講義をして頂きました

て講義をしていただくこととなりました。

今回は午前中にさわらび荘を会場に開催し、午後からは昨年と同様に福祉村で開催させていただきました。

接遇とは、自分以外の人に満足してもらええる対応の仕方です。今回の講義で紹介する接遇の仕方は基本となるもので、ここを分かっていることで対応の様々な場面で起こる「まさか」に対処できるように応用していただきましたということでした。

相手への最初の対応といえる挨拶ですが、これが相手へ第一印象として与える重要な部分であり、できあ

がってしまった印象は3年ついて回るとも言われています。お辞儀一つとっても、例えば、相手から見ればさわらび会のイメージを背負っているともとれるということです。

好感の持たれる挨拶の仕方の5つの基本は、

- ①笑顔で行う
- ②相手の名前を呼んで挨拶する
- ③自分から先に言う
- ④はっきりとした声で言う
- ⑤相手の目を見て言う

つまり、大切なのは「あいさつ」。

あかるく いつも さきに つづけることです。

好感の待たれる話し方のポイントとなるのがクッションことばと呼ばれるものです。これは、「失礼ではございますが」「あいにくではございますが」といったことばで、相手に何かお願いするとき、相手の意に反するときを使うもので、まさに相手との対応においてクッションの役目を担ってくれることばです。

信頼される電話対応では、電話が

鳴ったときに用意するものとしてメモとペンの他にもう一つ大事なものがありません。それが「笑顔」です。これは、声の笑顔ということで、電話の先の相手にとって気持ちの良い話し方ということです。

このほか、階段のご案内やエレベーターのご案内の場面での対応の仕方では、実演を交えて分かりやすく教えていただき、尊敬語と謙譲語の説明では実際に受講生が解いてみるという時間も作っていただいたので、接遇のポイントというものを実感できる講座内容となりました。

(鳥居)



●受講生と名刺交換の実演をしました

みんなの力でみんなの幸せを実現するために

さまざまな取り組み

さわらび会では、高齢者や障害者のみなさんの自立や健康を守るために日々医療と福祉の充実を目指してさまざまな取り組みをしています。

医療と福祉の連携

■その人らしい暮らしを実現するために利用者のみなさんが幸せを感じることでできる支援を目指して、さわらび会では、高齢者担当会議、障害者担当会議、在宅医療福祉担当会議などを各施設、病院の担当者を中心に開催をしています。各種会議では、それぞれの専門分野から見た様々なケースの直面する課題に取り組んでいます。また、今後の私達の取り組みの方向性を示す提案などもなされます。

地域で暮らす皆さんのために

地域で生活するお年寄りや障害者の方は、ワンコールで誰かが駆けつけていただける病院や施設で生活す

る方々と違い、絶えず不安を抱えながら生活しているのが現状です。

■地域包括支援センターって知ってますか

地域包括支援センターとは、平成18年の介護保険法改正により創設された機関です。高齢者の方々が住みなれた地域でいつまでも安心して生活していくことができるように、保健・医療・介護・福祉などさまざまな方面から総合的に支援していく機関です。地域包括支援センターには、保健師・社会福祉士・主任ケアマネージャーなどの専門知識を持った職員が配置されています。それらの専門職員が、高齢者の方々が要介護状態になるのを防ぐ介護予防ケアマネジメント事業、地域で生活していく中で、様々な悩み事の相談に対してお答えする総合相談支援事業などの業務を行っております。

さわらび会には、「さわらび地域

包括支援センター」と「福祉村地域包括支援センター」がありますので、お気軽にご相談ください。

障害児への支援協力

障害児が、一般の学校で授業を受けたり、給食を摂るためには、さまざまな援助が必要です。こうした援助は、学校の先生だけでは担いきれません。そこで、新しく「学校介助員派遣事業」を行う自治体が現れてきました。内容は、障害等を持ち、著しく学校生活への適応が困難な児童・生徒に対し、必要に応じて小・中学校に介助員を派遣し、豊かな学校生活を過ごすというものです。

田原市は、平成21年4月よりこの事業を開始し、さわらび会では市の委託を受け、市・学校・保護者及び介助員（事業所）とが協議・協力し、小学生（自閉症）の支援を行っています。障害児・者が地域で普通に暮らすこと、自立と共生の社会作りを目標とするように、障害のある児童が地元の学校で自立を目指す為の支援の、助となればと考えています。

研修会への講師派遣

5月13日、愛知県サンライフ名古屋を会場に「平成二十一年度 愛知県障害程度区分認定調査員研修会」が開催され、たまたも荘障害者生活支援センターの松井相談員が講師として派遣されました。

この研修は、障害福祉サービスを受ける上で前提となる障害程度区分の認定調査が、公平、公正に行われ、正確に障害者の状況が把握されるために、その調査員の養成、資質向上を目的として実施されています。現場の視点から、県内でより適正な調査が実施されるよう協力してゆきたいと思えます。

福祉施策は年々変わってゆき、利用者やその家族の方が求めるサービスも日々変化してゆきます。そのような状況に対応するためさわらび会では、利用者が今望んでいるサービスを必要な時に提供できるようにしてゆきたいと思っています。そして「どうしたらみんなが安心してその人らしい暮らしができるのか」それはさわらび会の永遠のテーマです。

（武田・編集スタッフ）

よりよいサービス提供のために

各施設での職員研修

○ 歯磨き介助研修

障害者支援施設 あかね荘

○ 気付き、振り返る研修

特別養護老人ホーム 第二さわらび荘

○ 自身の障害体験を

学生の福祉教育のために

○ 福祉村病院から、4名の医師が

非常勤講師に就任されました

これからの医療・福祉を担う学生のために

大学や専門学校で講師に就任します

あかね荘では、静岡県立大学短期

大学歯科衛生学科講師の千綿かお

る先生による歯磨き研修が行われま

した。知的障害者の歯みがきに関す

る講義の後、実際に利用者数名をモ

デルに普段行っている歯磨きを行い、

その後先生がブラシを歯に直角に当

て、小刻みに動かすことや、声かけ

しながら行うことなどを実演しなが

ら教えて下さいました。

今後は、利用者に歯磨き後の爽快

感を多く味わってもらえるよう、歯

磨き介助にもっと力を入れてゆきた

いと思います。

(貞綱)



第二さわらび荘では、高齢者擬似

体験を通して、「気付き」をテーマ

にした施設内研修を定期的に行って

います。ユニットケアを行う第二さ

わらび荘では、職員が一人で業務に

当たることも多く、その場での判断

はその職員に委ねられることが多く

あります。研修を通し、職員間で

年寄りの気持ちを再度振り返り考え

直すことで、職員から見た日線の介

護になっていないか、お年寄り個々

の気持ちに寄り添えているか「気付

く」良い機会になっています。お年

寄りが生き生きと過ごせ、笑顔が出

る生活となるよう、職員研修を続け

ていきたいと思っています。

(林)



障害者支援施設 珠藻荘の田中

力副施設長が、今年度よりサンピレッ

ジ国際医療福祉専門学校介護福祉学

科の非常勤講師に就任し、年に2回

の集中講義で障害の理解についての

講座を担当することとなりました。

自身も元々は珠藻荘の利用者であり、

また、珠藻荘の職員となつてからは、

施設に人所されている方だけでなく

在宅の方など様々な利用者の方に対

する支援を行っています。そういつ

た経験や視点を講義にも生かして受

講生の方々に、より専門的な障害の

理解を講義していきます。



当事者の立場から福祉の楽しさを伝えていきたいです。

○ 愛知医科大学医学部非常勤講師

医療法人さわらび会

理事長 山本孝之先生

○ 名古屋市立大学研究科非常勤講師

福祉村病院 先端医療担当

副院長 岡田秀親先生

福祉村病院長寿医学研究所

名誉所長 堀 映先生

福祉村病院長寿医学研究所

副所長 赤津裕康先生

○ 名古屋市立大学医学部非常勤講師

福祉村病院長寿医学研究所

副所長 赤津裕康先生



働くお母さん

～安心して働いていただくために～

さわらび会には子育てをしながら働くお母さんが大勢いますが、福祉村保育園と利用するお母さん方の声を取り上げ、さわらび会における子育て支援への取り組みを紹介します。



少子高齢化が進む中、さわらび会では福祉村保育園をはじめ、子どもを産んでも働ける環境が整っていますので、少子化の声は聞こえてきません。今年度も育休を終え、子どもを連れて仕事復帰をされる方が大勢いらっしやいます。福祉村保育園のお母様方は、本当に頑張りやさんばかりです。朝の子どもへのお介当りから始まり、家族のご飯の支度、洗濯など忙しい朝を乗り切り保育園に子どもと登園してきます。いざ出かけようとすると子どもがうんちをしてしまったりなど、予期せぬことが起きることもあるでしょう。息つく暇がないほど忙しく一日がすぎていくことと思います。そんなお母様方が安心して子どもを預け働けるように私たち保育園も日々頑張っています。

0、1、2歳児にとって、一つのことが、できるようになるまでにはとても時間がかかります。例えば衣類の着脱では、1歳後半から2歳の子どもたちは、自分でできるようにおもむつ換えの度に練習をします。ズボンをはくために片足ずつ上手に足をいれることは、小さな子ども達にとっては大変なことですが。しかし毎日毎日の繰り返しで少しずつ上手になっていきます。いったんできるようになると、今度は嬉しくて得意になって自分ではける姿を見せてくれます。保育園での生活は、このように小さなことの積み重ねです。その積み重ねで子どもたちは成長していくのです。手助けすることは簡単ですが、子育てにおいて根気よく待つてあげることが、とても大事なことです。新しいことを始める時や何かをできるようにしたい時は、気持ちの余裕をもって根気よく子どもと付き合うのがコツです。

人は褒められ認められると、とても嬉しいものです。1歳の子どもでも「じょうず、じょうず」「えらかったねえ」とできたことを褒めたり拍手するだけで満面の笑みで喜びを表します。子どもたちは、良いことをしたり、できないことができるようになる」と褒められ、いけないことは叱られます。その中で良し悪しがあり、社会のルールを覚えていきます。そして褒められることの心地よさを感じ、褒められようと努力するのです。また、子どもは、何でも試してみることから始まります。それは、「いたずら」だったりすることもあります。小さな子どもたちは、色々な経験を通して知恵をつけ成長していくのです。ついつい叱られることばかりするのが子どもです。叱ることも大切ですが、叱ってばかりいるとなぜか余計に叱られることをするものです。叱られて、嫌な思いや辛い思いをするから、褒められ認められて嬉しさが増します。心にとくさんの感情が芽生え、自分の気持ちや友達のことを考えられる思いやりの心が育っていくのだと思います。

脳細胞は、成人と同じ神経細胞が受精から誕生までにつくられ、出産後も猛烈な勢いで増殖し、3歳で80%完成します。また、環境によって

脳の伝達細胞は刺激され増加するといわれています。大きな声で歌をうたい、絵本や紙芝居をたくさん読んでもらい、お散歩では、五感を働かせ、自然の変化を体中で感じ、製作活動では、指先を上手に使うことを覚えます。「二つ子の魂、百までも」といわれるように、子どもたちにとって、日々の生活の中で多くの経験と良い刺激が与えられるように保育しています。

福祉村保育園園長 竹内佐枝子

ありがとう保育園の親の声

私の娘は、生後七ヶ月から福祉村保育園でお世話になっていました。その娘も、この春から幼稚園年少さんで、今は2次保育でお世話になっていきます。娘は、病気になっても保育園を休みたくなかったほどの「保育園大好き、先生大好きっ子」です。

保育園では、子供が大好きなお買い物ごっこや、七五三などの行事、小音楽会など楽しい催しが一杯です。毎日のお散歩も楽しみで、菜の花、バッタ、どんぐり、テントウムシな

ど「ママ、見てーすごいでしょー」

と仕事を終えて迎えに行くと、笑顔と一緒に



プレゼントしてくれていやなことも吹き飛びます。子供の作る工作も親の楽しみの一つです。我が家では、玄関をギャラリーにして作ったものを展示して楽しんでいます。お弁当の後の歯磨きは、磨き残しがないように先生方が、仕上げ磨きまでしてくださいるので子供達は磨き上手になります。いつでも子供のこと、働くママのことを考えてくださり感謝感謝です。私自身、不安に思うことや分からないことは、先生方に相談したり助けていただきながら子供と一緒に成長させていただきました。あるお母さんが言っていました。「こんなによく見てくれるとこないよー」って。本当にそう思います。こんな保育園ないですよー巡り会えた人はラッキーですよー

福祉村病院看護部看護師長 八木

育児休暇中は四六時中、一緒にいても人見知りの娘を、仕事復帰の為に保育園に預けるのはとても不安がありました。しかし初日こそは母子共に泣いてしまいましたが、優しい先生達に次第に慣れていき、朝預けるときに自分から先生の腕に飛び込んでいったときには、嬉しいやら寂しいやらと複雑な気持ちでした。そんな子供の様子を見て安心して子供を預けて、自分は仕事に集中することが出来るようになりました。

保育園で

は四季折々の行事に合わせ、とても家では作れないような色々凝った物を作っては、本当に嬉しそうに見せてくれます。そんな子供の姿を見るのは本当に幸せです。日々成長していく子供の様子を、お迎えに行った時直接先生から聞くことが出来るし、連絡ノートでも園の様子を毎日書いて頂けるのでとても分かりやすく助かっています。



毎朝、娘と共に福祉村へ出勤するようになり、早いもので三ヶ月が過ぎようとしています。娘が満一歳の時に保育園へ入園させて頂いたのですが、それまでしてきた母乳育児を人園後も変わらず続けられたことに大変感謝しています。職場内に保育園がなく、他の園に預けていたら昼休憩に職場を抜け出して娘に直接授乳することは難しかったと思います。月を合わせて授乳することで、入園間もない娘に安心感を与えられたと感じています。

福祉村病院医療事務 小川

毎朝、娘と共に福祉村へ出勤するようになり、早いもので三ヶ月が過ぎようとしています。娘が満一歳の時に保育園へ入園させて頂いたのですが、それまでしてきた母乳育児を人園後も変わらず続けられたことに大変感謝しています。職場内に保育園がなく、他の園に預けていたら昼休憩に職場を抜け出して娘に直接授乳することは難しかったと思います。月を合わせて授乳することで、入園間もない娘に安心感を与えられたと感じています。

私にも、福祉村保育園に預ける事で、常に娘がそばにいるという安心感があります。緊急事態が生じてもすぐに駆けつける事ができます。

毎日元気に登園し、集団生活の中でしか学べない子供同士のやりとりの中で、ますます育つ娘を見て、「子供が元気なおかげで働ける。私もがんばろう。」

と思います、今日も仕事に向かっています。



第二さわらび荘ケアマネージャー 林

山 本 左 近

Exciting! GP2 ASIA Series

[驚異的な走り]

最終戦で最高の走り

GP2アジアシリーズ最終戦、バーレーンGP

40度を超える過酷な状況の中、

応援してくれるファンのために最高の走りシリーズを締めくくる

GP2アジア最終戦 バーレーンGP

GP2アジアシリーズ最終戦となるバーレーンGPが4月24日(金)から26日(日)まで、バーレーンのインターナショナルサーキットで行われた。

24日(金)の予選では、ベストラップを刻む快調な走りを見せていたが不運にもトラフィックに引っかかってしまいタイムロス。そのため予選17番手と出遅れてしまった。

GP2アジアシリーズでは、初戦の上海GPでいきなりの3位表彰台を獲得し、そのポテンシャルの高さからシリーズチャンピオン争いの有力候補として挙げられていた左近選手だが、その後のGPでは、幾度となくマシントラブルなどの不運に見舞われ、その実力を存分に発揮できない、フラストレーションの溜まるレース展開が続いていた。

しかし、翌日の決勝レースでは、今までの鬱憤を晴らすかのような驚異的な走りを見せる。常にブッシュし続ける積極的な走りで、ピットストップに入るまでに6台をかわ

し11位に上がると、その後も華麗なオーバーテークショーを繰り広げ、終わってみれば11台をこぼろ抜き、6位でフィニッシュ。左近選手の速さとその存在感を見せつけ、レース関係者を唖らせた。

日曜日に行われた決勝レース2では、後から追ってくる、同じ日本人ドライバーの小林可梦偉選手を抑え、前車と0.7秒差の4位でフィニッシュ。惜しくも表彰台を逃してしまっただが、安定したすばらしい走りを見せた。

レース後左近選手は、「正直、レース2で3位以内に入れなかったのは悔しい部分でもありますが、でも、シーズンの中で、一番良いレースができたと思います。特に、レース1はとってもエキサイティングなレースだったので、皆さんにも是非見て頂きたかったです。」と話し、気持ちよくGP2アジアシリーズ最終戦を終えた。

GT Masters 第2戦

5月9日(土)オランダのアッセンで、GT Masters 第2戦



の予選と決勝レースが行われた。予選1は、チームメイトのマイヤー選手がドライバークルを務め、予選2を左近選手が務めた。レース1は、予選1の結果により14番手からのスタート。マイヤー選手が上手くポジションを上げ、良いペースで走行するが、スピンして後退してしまう。そして、左近選手に代わってからは、積極的にブッシュし、路面が汚くて滑りやすいコンディションの中で追い上げ、9番手フィニッシュ。8番手までしかポイントにならないため、残念ながらポイント獲得はできなかったものの、その実力を十分に発揮させた。

翌日のレース2は、予選2の左近選手の結果により6番手からのスタートだったが、スタート直後の1コーナーで追突されてスピンしてしまふ。エンジンまで止まってしまい、再び走り出したものの、レース終盤には前車が出したオイルで、スピンしてグラベルにはまってしまう、抜け出したものの、そのままピットインでリタイヤ。なんともアンラッキーなレース展開となつてしまった。

GT Masters はベアを



Sakon's News



●Next GT Masters Race

第3戦 ● 06/07 Hockenheim

第4戦 ● 07/05 Lausitzring

第5戦 ● 08/23 Nurburgring

第6戦 ● 09/20 Sachsenring

第7戦 ● 10/18 Oschersleben

組んでの戦いとなるため、それゆえに勝つことの難しさはあるが、残り5戦、左近選手の活躍に期待したい。

大口の
鯉にみとれし
脚踊る



俳句浪漫

直筆の書で
季節を彩る

ジュゲム施設長・東京大学客員研究員
金井 芳之



大口の

鯉にみとれし

脚踊る

過日、米国のボストンで長年お世話頂いてきたS博士夫妻をおつれして東京湾沿いにある浜離宮の散策を楽しんだ。浜離宮は25万坪もある広大な庭園で元は甲府藩の下屋敷で、後に徳川幕府に帰属し、今は東京都立浜離宮恩賜庭園と呼ばれている。中に一度入ると都会の雑踏は瞬時に消え、大小長樹齡の松や桧に、大小の古池や小山が見事に調和して我々を雅な世界へと導いてくれた。たまたま池の水面ぎりぎりに掛けられた石橋に、一歩踏み入れたその瞬間、数十匹の鯉が直径10cmもある大口を一斉に開き餌をねだりに来た。



お互いが締めき合い、恰も鯉のほりのように空中に舞う姿とその計り知れないエネルギーには、初めて味わった感動もあり、足元が思わずふらつく程であった。60cmにも及ぶ大きな鯉に成長する過程で多くの遊び心のある人々に愛されてきたのかと、何となく平和な気分を味わうことが出来たのである。

さわらび大学公開講座案内

☆参加費無料でどなたでも受講できます

- 6月11日(木) 障害児者に対する音楽療法の実践・音楽療法の基礎
講師▶音楽療法士 池田 信子
- 6月25日(木) 家庭やペットサイドでできるリハビリ、介護予防体操
講師▶老人保健施設ジュゲム 理学療法士部長 西村 公彦
- 7月 9日(木) 人口動態からみた社会の動きと社会福祉の動向
講師▶社会福祉法人さわらび会 本部事務局長 藤田 聡一郎
- 7月23日(木)
(調整中)

さわらび大学の開催

時 間●第2・4木曜日、午後3時～4時

会 場●福祉村病院会議室

尚、都合により日程及び講座が変更となることもございますのでご了承ください。

講義内容へのご意見・ご要望がございましたら、下記までお申し付けください。

◎お問い合わせ・受講申し込み

軽費老人ホーム若菜荘

☎ (0532)48-1138 FAX (0532)48-2365

た杉の巨木に圧倒された。「こんなだね」と娘たち。少し息がある。仁王門には門に入り



は門に入り、さらに折れ曲がっている巨大な草履が奉納されていた。二泊三日の巡礼の旅もこの寺で第三回目が終わる。第四十二番明石寺から第四十四判菅三山大宝寺まで七十キロ、徒歩では二十二時間、車で二時間かかる。駐車場から坂道を登る。大宝寺は昔牛山の山中にあり、参道に登るにつれて杉がだんだん大きくなる。表面に緑色の苔がびっしりとつ

いかり先生の
お遍路さん
 四国八十八ヶ所霊場めぐり
 ●杉の巨木と「くま」伝説
 福社村病院副院長 伊坊 弘之

い接待に感謝した大師がくまに願い事を探ねると「いつもお参りする寺がある山の麓に村落があれば嬉しい」と言った。大師は「村落ができたなら、あなたの名をつけるといいでしょう」と答えた。幾久しく栄えるようにとの願いが込められたその名が「久万町」として現在も残っている。「弘法大師いないかな。良いことをするから、何かご褒美がほしいよう。」と小四の娘。「弘法大師にでなくていいのだよ。どんなことでも良い行いをしたら、そのうち必ず良いことがあるものだよ。」と母。

この草履は百年に一度取り替えられるという。大宝寺のある久万町の名は巡錫中の弘法大師に接待をした「くま」という老婆に由来する。おくまさんの温かい接待に感



Vol. 17
 relay column
さわらび会
 のわ
 さわらび社介護士長
 柴田 竹夫

ながめぼーっとしていると、気が持ちは癒されるような気がしてきます。いい音楽を聴いて癒されるのと同じ感覚がもしあればいい。最近のお気に入り、渡岸寺、聖林寺、宰十寺の十一面観音です。これらの十一面観音は、見た目は女性的で何か心をすべて包み込んでくれるような感覚を受けます。ぼーっと観ていると、動きを感じます。その動きは荒々しい動きではなく、今まさに動き出そうとする気配を感じます。それは腰のひねりや裸足の足の位置、足先に現れているようです。静かに動き出し、観ている者の心身を癒してくれそうな感じを受けます。

また、この観音はいろいろな表情を併せ持っています。正面から拝める顔は慈悲の顔、憤怒の顔、牙を持つ顔ですが、後ろには悪態大笑相という木面の顔とは全く違う表情があります。渡岸寺の十一面観音の悪態大笑相の笑いは悪魔的な薄気味悪さを漂わせています。神秘的な感情を表現しながら、観る者の心を洗ってくれるような気がします。私にとって仏像の前に行心ことは、心をリセットさせてもらえる大切な時間です。

次回は、福社村保育園保育士 山本麻美子さんです。

◆福祉村病院・シユゲム

4月16日 豊橋市社会福祉協議会主催の認知症座談会(大清水地域福祉センター)にて伊対弘之副院長が助言と講演
第一・さくら通り病棟家族会
橋詰先生によるCPC(理事長出席)

17日 ライオンクラブ合同例会に理事長出席
病院幹部会(理事長出席)
施設長会議(シユゲム)に理事長出席

18日 日総研主催の公開セミナー(大阪市・愛国会館)にて伊対弘之副院長が「食べない、入浴しない、眠らないへの対応」について講演
日総研主催の公開セミナー(東京JJホール)にて伊対弘之副院長が「認知症ケアマスター」について講演

22日 医療安全委員会
さわらび大学「認知症について」さわらびの会山本孝之理事長
豊橋らきりライオンズクラブチャーターナイト25周年記念式典に理事長出席
感染対策委員会

23日 早稲田生(会)談(理事長出席)
みなとライオンズクラブ合同委員会に理事長出席

25日 豊橋市社会福祉協議会主催の認知症座談会(つじヶ丘地域福祉センター)にて伊対弘之副院長が助言と講演
シユゲム幹部会

14日 さわらび大学、接遇(朝)ハーモニート近藤敬子代表取締役
病院幹部会(理事長出席)

◆さわらび荘

4月20日 愛知県老健協H21報酬改定次なる戦略会議(施設長・土井・白井・村田・尾下・白井有 各古居) 包括打ち合わせ会(松下・勝山中役所)

23日 老人ホーム 河部全休施設長会議(施設長 豊田)

24日 愛知県認知症研修調整会議(築田 各古居)

27日 豊橋市介護保険事業者連絡会(施設長・浅見・本江・日下部 勝山)

5月12日 愛知県老健協施設長会議(総会)(施設長 各古居)
愛介連東三河フロンツ研修(白井秀・浅見・日下部 ライフポートとよはし)

14日 渡邊(豊)ライフポートとよはし)ケアマネージャー部会(白井秀 各古居)

◆第二さわらび荘・カサデローザ

4月20日 愛老協戦隊会議(山本施設長・長坂・池野・金森・松原・玉森 各古居)

21日 愛老協協大役員会(山本施設長 各古居)

22日 牛川福寿園竣工式(山本施設長 各古居)

23日 老人ホーム 三河部施設長会議(山本施設長・奈良施設長 豊田)

25日 豊田感謝の集い(長坂 山役所)

27日 全老協協正副会長等日長(会談)(山本施設長 東京)

28日 市介護保険事業者等連絡会全体会(長坂・東野)

30日 全老協協大入評委員会(山本施設長 東京)

◆珠蔭荘

4月16日 知的障害者ニーズ協会(施設長) 愛知県身体障害者施設施設長会役員会(施設長 各古居) 家族会役員会

20日 知的障害者ニーズ協会(施設長) 愛知県身体障害者施設施設長会役員会(施設長 各古居) 家族会役員会

◆あかね荘

4月18日 調理教室
絵画教室(鈴木先生)
健康診断(5/24日)
福祉講座活動
年中歌除
両席き介助研修
防災点検
障害児等障害支援事業所支援研修会(小立原 石田と 相馬 東三河総合庁舎)

◆若葉荘

4月20日 愛知県老健協H21報酬改定次なる戦略会議(施設長 各古居)
愛知県老健協役員会(施設長 各古居)
老人ホーム 三河部役員会(施設長 豊田)

◆明日香

4月16日 クーンス会議日
回診日
24日 東三河クラブ施設長会議
家族会総会
28日 回診日
5月1日 クリーニング稼働日
7日 クラブ活動日
士任会議

◆若葉荘

4月20日 愛知県老健協H21報酬改定次なる戦略会議(施設長 各古居)
愛知県老健協役員会(施設長 各古居)
老人ホーム 三河部役員会(施設長 豊田)

◆あかね荘

4月18日 調理教室
絵画教室(鈴木先生)
健康診断(5/24日)
福祉講座活動
年中歌除
両席き介助研修
防災点検
障害児等障害支援事業所支援研修会(小立原 石田と 相馬 東三河総合庁舎)

◆若葉荘

4月20日 愛知県老健協H21報酬改定次なる戦略会議(施設長 各古居)
愛知県老健協役員会(施設長 各古居)
老人ホーム 三河部役員会(施設長 豊田)

◆あかね荘

4月18日 調理教室
絵画教室(鈴木先生)
健康診断(5/24日)
福祉講座活動
年中歌除
両席き介助研修
防災点検
障害児等障害支援事業所支援研修会(小立原 石田と 相馬 東三河総合庁舎)

◆あかね荘

4月18日 調理教室
絵画教室(鈴木先生)
健康診断(5/24日)
福祉講座活動
年中歌除
両席き介助研修
防災点検
障害児等障害支援事業所支援研修会(小立原 石田と 相馬 東三河総合庁舎)

◆あかね荘

4月18日 調理教室
絵画教室(鈴木先生)
健康診断(5/24日)
福祉講座活動
年中歌除
両席き介助研修
防災点検
障害児等障害支援事業所支援研修会(小立原 石田と 相馬 東三河総合庁舎)

◆あかね荘

4月18日 調理教室
絵画教室(鈴木先生)
健康診断(5/24日)
福祉講座活動
年中歌除
両席き介助研修
防災点検
障害児等障害支援事業所支援研修会(小立原 石田と 相馬 東三河総合庁舎)

◆あかね荘

4月18日 調理教室
絵画教室(鈴木先生)
健康診断(5/24日)
福祉講座活動
年中歌除
両席き介助研修
防災点検
障害児等障害支援事業所支援研修会(小立原 石田と 相馬 東三河総合庁舎)

◆しろがね

4月16日 障害者若葉福祉事業連絡会制度研修(各古居 住吉)
さなえ会おやつ奉仕
IFM合唱団
IFM合唱団(あかね荘)
IFM合唱団
5月11日 療育支援研修会(八木沼 東三河事務所)
さなえ会おやつ奉仕

◆各施設共通

4月16日 共同防災会議
施設長会議
栄養士会議
在宅医療福祉部会議
福祉村キヤンパン隊(西郷小学校) 障害者担当会議
在宅医療福祉部会議



さわらび会後援会寄附ご芳名

平成21年4月15日～5月14日

市内野田町字野田117-7	権田晋氏	10,000円
市内牧野町90	小松ウメ氏	5,000円
市内東雲町46	兵藤商店	12,000円
市内入舟町21	㈱三忠薬品	20,000円
市内野依町字西物草12	家具の街ヨコモブランド	10,000円
新城市南畑74	光川屋㈱	10,000円
市内小池町36-1	共和印刷㈱	5,000円
市内高塚町神田68	田京敏明氏	5,000円
市内中岩田三丁目11-3	白井良治氏	1,000円
市内弥生町字西豊和9-9	林 昭氏	10,000円
市内笠町30	㈱中野新松商店	10,000円
市内瓜郷町前川50-1	鈴木弘生氏	10,000円
市内東新町314	㈱日医工新和	10,000円
市内問屋町15-5	㈱スズケン	10,000円
市内東田町154	笹竹田商店	10,000円
市内東鵜三丁目1-17	森田市利子氏	10,000円
市内白河町100	中部ガス㈱	10,000円
市内神野埠頭町2	神野臨海㈱	10,000円
市内野依町山中19-14	福祉村病院職員有志	3,000円
	匿名希望氏	10,000円
	匿名希望氏	10,000円
	匿名希望氏	20,000円

その他匿名希望多数の方よりご寄附頂きました。
計 **211,000円**
現在までにご寄附いただきました金額は
826,578,308円

ご寄付は、さわらび会の病院・施設なら、どこでも受け付けております。皆様の御協力をお願い致します。

みんなの力でみんなの幸せ

社会福祉法人

さわらび会後援会からのお願い

さわらび会後援会では、広く社会の善意のある方々に後援会員になっていただき、そのあたたかい浄財をもって福祉村の建設並びに運営していくよう支援しております。

皆様方の、ご入会を心からお願い申し上げます。

後援会会長 **神野信郎**

●お問い合わせは 珠藻荘 ☎(0532)47-1050まで

インド福祉村協会寄附ご芳名

平成21年4月11日～5月10日

大阪府岸和田市小松里町947-7	小野剛賢氏	6,000円
大阪府岸和田市宮本町28-22	薬師院 阿字親教庵	10,000円
名古屋市中区新栄1-7-12	東海労働金庫	3,400円
広島県広島市西区高須2-6-4-101	佐伯靖子氏	2,000円
名古屋市昭和区山花町50	医療法人 牛寿会 理事長 酒井宏氏	50,000円
三重県桑名市額田63	伊藤清信氏	50,000円
名古屋市北区大曾根3-16-37	柴田昌雄氏	5,000円

計 **126,400円**

募金方法(インド福祉村)

■振込先 郵便局 ゆうちょ銀行・振替口座
口座番号00830-2-65008 加入者名 インド福祉村協会
■連絡先 軽費老人ホーム若菜荘 ☎0532-48-1138まで

＊お礼コーナー ありがとうございました＊

※印は豊橋善堂銀行を通して

▼奥田隆様 玉ねぎ栽培※ (あかね社、珠藻荘)

▼株式会社三州プロモーション様

島津亜矢チャリティーコンサートチケット寄附※ (石塚社)

第二さわらび荘 家族会総会

4月29日(水)、約60名の方の参加があり平成21年度第二さわらび荘家族会総会が開催されました。

昨年度の事業報告・監査報告とともに平成21年度の事業計画が「施設全体・利用者全体のために施設の運営を側面的にサポートする」ことを大前提に検討され、以下の様にご承認いただきました。

- ①「家族会デー」の実施 今年度も月2回(第2日曜と第4水曜)のボランティア活動の実施。
- ②家族会支援費 ユニットが潤いの有るものにするためにレク用品や観葉植物等の購入費等各ユニットへの予算の計上。
- ③共同行事のお手伝い 「夏休み親子福祉体験」や「さわらび文化祭」のお手伝いの実施。
- ④事業費 今年度も施設共催で8月に「夏祭り」を実施することになりました。
- ⑤予備費の使途 感染症対策費など毎月行う役員会にて審議の上決定。

このような家族会活動は大変素晴らしいものです。このご協力に感謝するとともに活動に報いるために今後もサービスの向上を日々研鑽してまいりたいと思います。

健やかな子ども達の 成長を願って ●●●●●



●第二さわらび荘利用者家族作品

編集後記

今回さわらび誌を初めて編集させて頂き多くの事を勉強させて頂きました。編集をすすめて行く中で今まで自分が見てきた各施設の取り組み、また職員ひとり一人の取り組みについて、また別の角度から確認できたように思います。そして、このような私達の取り組みを皆さんにお届けするというさわらび誌の役割も再認識させて頂きました。

このさわらび誌がより充実したものになるよう各施設の取り組みに目を向け、皆様の声に耳を傾け、新人からベテランの職員そして利用者の皆様と出来るだけ多くの皆さんと一緒にこのさわらび誌を作ってゆきたいと思えます。若葉マークの編集長ですが、今後ともご支援ご指導の程、よろしくお願い致します。(江川)

〔表紙写真〕京都東林院 贈と沙羅の花

充実した医療と福祉 みんなの力でみんなの幸せを

社会福祉法人 さわらび会 代表 山本 幸之

- 特別支援老人ホーム さわらび荘
☎(0532) 54-3501
法人本部 豊橋市沢ノ上町7-2
- 特別養護老人ホーム 第二さわらび荘
●ケアハウス カリ デ ロージ
☎(0532) 37-1209
- 軽度老人ホーム 若葉荘
☎(0532) 48-1138
- 障害者支援施設 珠翠荘
☎(0532) 47-1050
- 障害者支援施設 あかね荘
☎(0532) 48 2825
- 福祉村病院
☎(0532) 46 7511
- グループホーム白球
☎(0532) 66-0082
- 障害福祉サービス事業所 明日香
☎(0532) 46 6579
- 福祉村障害福祉サービス事業所 しらがね
☎(0532) 48-1032
- 福祉コンビニ(愛・河)
☎(0532) 69 5666
- 第二福祉コンビニ弥生
☎(0532) 38-9090
- さわらび会障害者居宅介護事業所 田原
☎(0531) 24-0722
- 福祉村老人保健施設 ジュグム
☎(0532) 46-7501
- 山原市障害者生活支援センター(市営) ☎(0531) 45-3828

さわらび

2009年6月1日発行 号外 第49号 毎月3発行
(昭和62年2月21日第三種郵便物認可)
発行所 さわらび会 江川 和郎 印刷 共和印刷 定価 100円